

第2学年\*組国語科 学習指導案

指導者 林 俊郎  
R2研修センター長期研修

1 単元名 反対意見を想定して書こう

2 本単元（題材）の目標

(1) 意見と根拠, 具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。  
(知識及び理解)

(2) 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり, 表現の効果を考えて描写したりするなど自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。

伝えたいことが分かりやすく伝わるように, 段落相互の関係などを明確にし, 文章の構成や展開を工夫することができる。

(思考力, 判断力, 表現力等)

(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに, 読書を生活に役立て, 我が国の言語文化を大切にして, 思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

(学びに向かう力, 人間性等)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
知①主張, 根拠, 理由の関係について理解している。	思①対話を通して, 根拠の適切さについて考え, 自分の意見文に生かしている。 思②段落相互の関係を明確にし, 構成を考えて意見文を書いている。	態①今までの学習を生かして, 根拠を適切にするため粘り強く活動しようとしている。

4 単元について

(1) 教材観

本教材では, 自分の立場や考えが明確になるように, 根拠の適切さや構成などに注意して意見文を書く。生徒が意見を述べることを理解し, 意見文作成の手順や方法について学ぶことができるように構成されている。自分の意見を述べる際には, 主張, 根拠, 理由の三つが揃うこと, 自分の主張への反論を受け, それに対する反論を考えることで, より根拠が適切になってくる。意見文作成の手順や方法については, ①題材について自分の主張をもつ, ②主張, 根拠, 理由について考える, ③反論に対する反論を考える, ④構成を考えて意見文にまとめる, という手順で教材が構成されている。意見文作成の手順や方法について明確に示されており, 生徒が根拠の適切さについて考え, 意見文を書くことを学ぶのに適した教材である。

(2) 生徒観

今年度7月に行った根拠の適切さを考えて意見文を書く授業においては, 「根拠の適切さを考えて書くことができた生徒」が\*人程度である一方で, 「根拠の適切さを考えて書くことができなかった生徒」が\*人近くもいた。書くことができなかった生徒の意見文を分析してみると「根拠が主張を支えるものではない」「根拠がなく主張のみ書かれていた」という生徒が多く見られ, 「根拠を見付ける方法」「根拠が適切か判断する方法」について指導

が必要だと感じた。

(3) 指導観

本研究では中学校第2学年「反対意見を想定して書こう」において対話を意見文に生かす学習活動に取り組み、根拠の適切さを考えて書く力を育てていく。まず、「根拠を見付ける段階」での対話を行う。根拠の適切さを考えて書くためには、主張、根拠、理由の三つが必要であることを確認する。三角ロジックを使い、自分の主張、根拠、理由を視覚化することでグループの対話がしやすくなる。違う考えに触れ、自分の三角ロジックを並べ替えたり、書き直したりするなど、対話を通して根拠を見付けやすくする。次に「根拠が適切か判断する段階」での対話を行う。友達からの反論を聞き、反論に対する反論を考えることで、より適切な根拠かを判断していく。そして、「書く段階」での対話を行う。これまで学習してきたワークシートを見直し、自己内対話、グループでの対話を行い、主張、根拠、理由等の構成を考え、意見文を完成させる。以上のような学習活動の工夫を通して、根拠の適切さを考えて書く力を育成していきたい。

5 単元の指導計画（6時間）

○は指導に生かす評価 ◎は記録に残す評価

次	時	学習内容・活動	知	思	態	評価方法・留意点等
1	1 2	<p><b>課題</b></p> <p>根拠を書く時には、どんなことに注意すればよいだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三角ロジックを使って主張、根拠、理由を整理する。</li> </ul> <p>まとめ</p> <p>主張、根拠、理由を書く と説得力が出る。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>主張と根拠のみ書かれた文を見て、何が足りないかを確認する。</li> <li>理由とは、主張と根拠をつなぐものであり、自分の解釈や具体例になることを伝える。</li> <li>資料を用意し、自分が根拠を見つける際の参考にする。</li> <li>三つを区別するために付箋で色分けして、三角ロジックに当てはめる。</li> </ul> <p>思①対話を通して、根拠の適切さについて考え、自分の意見文に生かしている。</p> <p>知①：主張、根拠、理由の関係について理解している。</p> <p>【ワークシートの記述分析】</p>
2	3	<p><b>目標：根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。</b></p> <p><b>課題</b></p> <p>賛成、反対の立場を決めて討論しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループで対話する。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>前時までに学習したことを振り返り、生徒の主張、根拠、理由の流れを確認する。</li> <li>自分の意見が賛成なのか反対なのかネームプレートを黒板に貼り、視覚的に意見のズレがあることを確認する。</li> <li>対話の途中で意見が変わってしまったら、ネームプレートを動かしてよいことを伝える。</li> <li>主張に対してではなく、根拠、理由に対して反論するように伝える。</li> <li>全体で考える視点を絞り、グルー</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で対話する。</li> <li>・友達の意見に対する反論を付箋に書く。</li> </ul>	◎	<p>プの対話が 焦点化できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体とグループの対話を必要に応じて切り替え,その都度考える視点を示していくようにする。</li> <li>・対話で出てきたことを板書し,それを参考にして書くようにする。</li> </ul> <p>思①:対話を通して,根拠の適切さについて考え,自分の意見文に生かしている。</p> <p>【ワークシートの記述分析】</p>
3	4	<p><b>目標:伝えたいことが分かりやすく伝わるように,段落相互の関係などを明確にし,文章の構成や展開を工夫することができる。</b></p> <p><b>課題</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分の根拠をより適切にしよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・反論に対する反論を考える。</li> <li>・構成メモを完成させる。</li> </ul> <p><b>まとめ</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>反論に対する反論を考えることで,根拠がより適切になっていく。</p> </div>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の対話の記録や資料を必要に応じて見ながら反論に対する反論を考えるようにする。</li> <li>・自分の意見に対する反論をもとに,反論に対する反論をグループで考える。</li> <li>・反論を受けたことにより,自分の根拠がより,適切なものとなったことを実感できるように声掛けをする。</li> <li>・主張,根拠,理由等の項目ごとに線や囲みのデザインを変えておくことで,より構成を意識して書けるようにする。</li> </ul> <p>思②段落相互の関係を明確にし,構成を考えて意見文を書いている。</p> <p>【ワークシートの記述分析】</p>
4	5 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成を考えて意見文を書く。</li> <li>・単元全体の振り返りをする。</li> </ul> <p><b>まとめ</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>三角ロジックと反論に対する反論で根拠がより適切になった。</p> </div>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを見直し構成のしかたを確認する。</li> <li>・ワークシートを拡大して説明することで,モデル文,三角ロジックと構成メモをつなげるようにする。</li> <li>・今までの振り返りを見直すようにする。</li> </ul> <p>態①今までの学習を生かして,根拠を適切にするため粘り強く活動しようとしている。</p> <p>【ワークシートの記述分析】</p>